

# ささやま 市議会だより

Jul  
2015  
Vol. 69



PHOTO：第100回定例会記念コンサート

- ドローンの購入、運用に活発な質疑
- 賛否の分かれた議案を公開
- 一般質問：議長を除く全議員が登壇！
- 政務活動費の使途を公開します

■少子化・定住促進対策特別委員会

市長へ中間報告書を提出

市議会では、議会報告会での「声」をきっかけとして、「少子化・定住促進対策特別委員会」を昨年10月に設置、調査研究を重ねた結果、本年4月に「中間報告書」をまとめ市長に提出しました。市長からは、「中間報告書」を議会の意思と理解し「前向きに検討する」との回答があり、今後は、より具体的な内容に言及するべく、「最終報告書」の作成を目指して取り組んでまいります。なお、中間報告書では、地域の活力を維持するために、市の関連施策の進むべき方向性を示しており、詳しい内容については、議会事務局または議会ホームページからも閲覧できます。以下、中間報告書の概要をお知らせします。



中間報告書の主な内容(抜粋)

【委員会の進め方】

①篠山市の人口流動の現状把握の調査・研究

②篠山市の少子化・定住促進施策の調査・研究

③アンケート、聞き取り調査の実施

④国の方向性、兵庫県、他自治体の施策の調査

【地方創生に関する国の動き】

長期ビジョン  
(国)

- 基本的視点：①東京一極集中の是正 ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現 ③地域の特性に即した地域課題の解決
- 目指すべき将来の方向：出生率1.8程度、2060年に人口1億人程度、2050年代に実質GDP成長率1.5～2%程度

総合戦略  
(国)

- 2015年度を初年度とする今後5か年の計画
- 4つの基本目標：①地方における安定した雇用を創出する ②地方への新しい人の流れをつくる ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ④時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

地方版  
総合戦略  
(篠山市)

- 人口ビジョン：人口の将来展望を示す
- まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27～31年度の5か年計画)：希望と安心をもってらせるまちをめざす

【篠山市の人口】

市全体の  
考察

平成13年の推計人口46,456人をピークに減少傾向にあり、平成26年10月の推計人口は41,729人となっている。年少人口(0～14歳)は平成12年には7,449人であったが、その後は一貫して減少が続き、平成26年には約2,300人減の5,135人と少子化が進んでいる。

地区別の  
考察

近年5年間の0～4歳の人口は味間・西紀南などで増加。また学校適正配置の対象となった東部地区でも微増となった。一方、八上・城北・岡野・城南・今田では減少した。5～9歳では、味間・後川が増加の一方、多くの地区で減少。10～14歳では、西紀北を除く全地区で大きく減少した。特に畑・日置・後川・雲部の減少は顕著であった。特に留意が必要なのは今田地区で、年齢区分別人口のすべての階級で減少している。

【中間報告のまとめ】

- ◆各地区それぞれ課題があるため、今より細やかな地区、年代等に応じた施策の検討が必要。
- ◆篠山への移住希望者に家庭菜園レベルの「農ある暮らし」のニーズが多いことが判明した。篠山ならではの魅力を活かし、土地利用計画や緑条例におけるゾーニングをもとにした規制緩和等、多角的な視点の検討が必要。
- ◆行政の明確なリーダーシップに加え、ニーズに敏感な民間事業者など、民間活力を活かした取り組みが必要。
- ◆PDCAサイクルに基づいた事業の評価、検証を行う仕組みの徹底が必要。

## ■民生福祉常任委員会

### 舞鶴市の原子力防災の取り組みについて／大飯発電所の視察

舞鶴市は、高浜原子力発電所より、5～30km圏内に、大飯(おおい)原子力発電所からも32.5km圏内に入る位置にあり、市全域が「原子力災害対策重点区域」に指定されています。5km圏内の住民を対象として、安定ヨウ素剤の事前配付が行われており、事前配付の手順や「原子力災害住民避難計画」などについて説明を受けました。市民が避難する際に、世帯ごとに避難先を記入した「避難カード」を作成し、自治会長等が収集して、「避難時集結場所」に待機する市職員へ提出することで、避難者と避難先が分かる仕組みを構築されており、住民学習会を通じて周知徹底が図られています。また、市が主導して自治会単位での避難訓練を実施されており、住民の避難完了確認の手段として、世帯全員が避難した場合、玄関先等に「白いタオル」を掲げる提案が自治会からあり、今後の避難計画に盛り込むとのこと等を確認しました。

大飯原子力発電所では、東日本大震災後に、原子力規制委員会が策定した、「新規規制基準」に基づいた地震津波対策について説明を受けました。



#### 【考察】

本市においても、安定ヨウ素剤の事前配付が計画されており、住民学習会も行われていますが、配付にあたっては、市民生活部の防災担当だけではなく、保健福祉部での対応も必要となることから、各部署間の協力体制の構築は必須です。また、原子力防災に限ったことではありませんが、災害発生時は、第一に住民の命を守ることが大切であり、そのためには、市民が具体的に行動できるような避難計画の策定とその周知徹底が必要であると感じました。今後とも市民の安全、安心を第一に考えた「防災」に取り組む必要性を強く感じました。

## ■産業建設常任委員会

### ため池整備事業について

老朽化し、危険なため池の整備が順次進められている中、点検内容や判定基準、制度の概要等について説明を受けました。ため池は、地域の所有物(財産)であることから、ダム等により別の水利が確保されていても、補完機能として残しておきたい等の地元の意向も尊重し、残す以上は維持管理も含め、地元と意思疎通を図っていくことの必要性等を確認しました。

#### 【考察】

ため池は、「かんがい」だけでなく「水源涵養」や「生物多様性の保全」「景観形成」等、多面的な機能を有しており、地域資源の維持・管理面からもその整備を注視していきます。

### 農都創造計画について／国における農政改革について

農都創造条例が制定され、農都創造計画の策定が進められている中、その説明を受けるとともに、質疑では以下の内容を確認しました。



- 集落営農組織は、経営管理等の難しさが法人化の阻害要因となっており、作業受託からスタートし、範囲を拡大する中で集落全体をカバーできる組織を育成していく。
- 中山間地域では、大規模農家だけに頼っていくことは非現実的であり、本市にとって集落営農組織は欠かすことのできない大きな核である。大規模農家と集落営農組織、元気な農業者の3本柱で支えていきたい。
- 地域の農地を守っていく人材育成に向け、牽引していく。

また、農政分野においては大きな改革の方向性が示されつつある中、その内容とともに、今後、想定される本市への影響等について説明を受けました。

#### 【考察】

本市の基幹産業である農業の振興や「農都」の実現に向けた計画となるように注視し、議論していきます。



# 活発な補正予算審査

ふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業や幼稚園・認定子ども園の多子世帯子育て支援等の新規事業や事業の拡充等、平成27年度篠山市一般会計補正予算（第1号）等を含む5会計の補正予算（5議案）が計上されました。

審査については、補正予算特別委員会（園田依子委員長）を設置し、総務文教・民生福祉・産業建設分科会で質疑を行い、補正予算特別委員会では附帯決議を付すとともに、本会議では修正案が提出されましたが、すべて原案可決しました。審査した主な内容をお伝えします。



各分科会での審査の結果、市長に対し、質問を行いました。

## 確認質問

■マルチコプターの取り組みについて

問 ①マルチコプター（ドローン）の購入、運用について、日本遺産のPRも含め大きな可能性は認める一方で、落下事故もあり、規制を求める声を含め、その運用が全国的にも注目される。市が率先して行うことの必要性、活用方法、安全対策は。②1機で60数万円と高額な機種を選んだ理由及びどのような使用を予定しているのか。③国における法整備の動きも踏まえ、安全対策をいつ頃までに作成するのか。

答 ①日本遺産の認定を受け、丹波篠山電脳案内板として、空からの映像で日本遺産をPRすることが非常に効果的な情報発信になる。活用方法及び安全対策については、国がルール化を進めており、これに基づき、安全対策を徹底したものとしていきたい。②業務として使用することに鑑み、安全性や映像を空撮する部分の機器等を考慮し、一定の水準を満たすものを計上した。篠山城跡や車塚古墳、その他、各地にある名木等を鳥の目から見た光景

は極めて有効な映像になると考えている。③今国会で関連法案が整備される方向であると認識しており、これを遵守していく。条例等の運用を定める必要性を認識しており、自らの安全手順とするとともに、市民の利用の指針となるようなものを早急に策定していきたいと思っている。

議案第78号

## 一般会計補正予算

（第1号）

■味問認定ことも園整備事業

【1億2,800万円】

問 地盤が軟弱で長い杭が必要、太陽光パネルの設置、地元産木材の使用、トイレの追加、園庭の遊具の数等の課題がある中、現時点では順調に進んでいると捉えてよいのか。

答 平成28年3月31日完成を目指す中、設計業者からもぎりぎりの日程と聞いており、やりきるとまでは言えないまでも、全力で取り組んでいく。

■ふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業

【7180万円】

問1 市内全域に若者定住住宅補助金を拡充することとした経緯は何か。

答1 これまでの定住促進重点地区における住宅補助の大部分が三世代同居であり、地域の担い手の確保という面から全市的な取り組みが必要と考えた。

補正予算特別委員会では、一般会計補正予算（第1号）に対し、3名の委員から、その執行上の留意点等を示す附帯決議案が提出されました。附帯決議の提案理由と内容は、次のとおりです。

【附帯決議案の提案理由（抜粋）】

篠山の魅力を日本や世界にアピールしていくためのマルチコプター購入について異議はないが、官邸への落下事故等もあり、その購入、運用については、色々な角度から配慮を行った上で、事業に取り組むべきである。

審議の結果、賛成多数で附帯決議を付すこととしました。

附帯決議

視聴覚ライブラリー事業に関し、マルチコプターの購入に際しては、ガイドラインの作成や手法など、安全確保に向けて、十分な検討及び対策を講ずること。  
以上、決議する。

平成27年6月4日

篠山市議会補正予算特別委員会

問2 定住促進重点地区の定義を条例等で定めるべきではないか。

答2 地方創生の関連もあり、重点地区の考えも含めて条例化等の議論をしたい。

■国内交流推進事業費 [107万円]

問 姉妹都市の犬山市に本市をPRするためのモニメントを設置することに関し、犬山市側の意向も踏まえた協議が必要である。また、交流というのであれば、本市にも犬山市がPRできる場を設けるべきではないか。

答 犬山市側も本市でPRしたい意向もあり、希望を聞いた上で今後も十分に協議を進めていく。

■後期高齢者医療費給付等事業 [500万円]

問 76歳と81歳の無料歯科検診を実施されるが、どのような効果を期待しているのか。

答 これまでは、40歳、50歳、60歳、70歳を対象にしていたが、高齢者の健康づくりには歯のケアは重要であることから、予防検診を進めていきたい。

■商工振興費 [171万円]

問 日本六古窯サミットin篠山への市民参画について、どのように考えているのか。

答 これまでのサミットは、構成市町の首長のみの参加が多かったが、今回は各地の若手作家の交流や作品展示を

企画しており、市民にも焼物を知ってもらう機会としてPRしていきたい。

■環境配慮型法定外公共物維持管理事業補助金 [250万円]

問 これまで補助がなかった法定外公共物について、今後は、補助が出るという点でよいのか。

答 これまで水路の改修要望に対して、確たる根拠がない中で材料支給等の支援を行ってきたが、支援の仕組みを要綱で定め、篠山市が取り組んでいる生物多様性ささやま戦略や川づくり・水路づくり指針等に則した整備を進めるために支援をしていきたいと考えている。なお、環境配慮型土地改良事業補助金や多面的機能支払交付金事業、溪流工整備事業の対象とならない法定外公共物を対象と考えている。

議案第80号  
下水道事業特別会計補正予算  
(第1号)

■公共下水道事業建設費 [1200万円]

問 統廃合後の下水道施設の跡地利用の方向性は決まっているのか。

答 適化法の関係もあり、汚水の調整槽等、下水道関連の利用が前提となるが、災害用仮設トイレの倉庫や肥料・融雪剤の倉庫として利用されている事例もあり、今後、検討していく。

本会議において、一般会計補正予算(第1号)に対し、5名の議員から修正案が提出されました。修正案の提案理由と討論内容は、次のとおりです。

【修正案の提案理由(抜粋)】

視聴覚ライブラリー費のマルチコプターの購入、運用について、①ドローンの落下事故等を受け、国の法整備も進められており、国の動向を見据える中で、しっかりと安全対策を講じた上で、取り組んでいくべきである。②修正案を可決することで、市の安全対策を担保する。こうしたことから、関係予算分を削減する。

【修正案に賛成討論(抜粋)】

・国の法整備も進められている中、時期尚早である。  
・①既存データの整理や脳案内板の骨子をまとめ、各場所の映像をある程度構成する中で、新たに空撮が必要と考える場所について、市で機材を購入し撮影するのか、委託するのか、どちらがふさわしいのかを検討し、それにかかる費用を予算化することが、とるべき手順である。②条例整備の必要性を認識する中、整備にとり掛かる前に、機材を購入することは理解できない。

審議の結果、賛成少数で否決となりました。

第100回定例会 賛否の分かれた議案 ~各議員の議案に対する賛否を公開します~

議案等	議案	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		園田	小島	吉田	渡辺	河南	木戸	栗山	奥土居	國里	足立	恒田	大上	植村	堀毛	前田	森本	隅田	林
議案78	平成27年度篠山市一般会計補正予算(第1号) 修正案	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	-
	原案	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	-

※○は賛成、×は反対。 林議員は議長のため、表決には加わっていません。

# 質一般問

## 6月定例会で 4会派と13人が登壇、 市政に対する質問と 提案を行いました。

### ■防災・救急体制について

市政執行方針「災害時要援護者個別避難支援」について	青藍会／森本 富夫	6
救急車の体制と市民救命士の充実について	高志会／木戸 貞一	8
消防署職員の増員が急務の課題	植村 満	12

### ■農林振興について

市政執行方針「ふるさとの森づくり・森林バイオマス」について	青藍会／森本 富夫	6
ペレットストーブの小中学校へ導入を	公明党／隅田 雅春	9
まちづくり協議会内に農業部門の設立支援を	小島 政行	10
農都創造に向けた楽農スクールの拡充を	恒田 正美	11
農産物地理的表示保護制度の活用について	渡辺 拓道	11
担い手育成と「人・農地プラン」について	國里 修久	11
政府の「農業改革」と篠山市の農業について	前田えり子	12

### ■学校教育・社会教育について

新教育長制度について	清新の会／奥土居帥心	7
更なる道徳教育の充実を	吉田 浩明	9
のびのびパスポート制度への参加について	渡辺 拓道	11
篠山市新春駅伝大会について	栗山 泰三	13

### 代表質問

青藍会  
森本 富夫

### 市政執行方針

- 1.「世界のみなさん、こんにちには」について
- 2.「定住促進」について
- 3.「ふるさとの森づくり・森林バイオマス」について
- 4.「災害時要援護者個別避難支援」について

問1 多くの場所で語られる市長の合言葉「世界のみなさん、こんにちには」について、みんなが理解し、思いを一つにするため、意図する意味や目的、目指す成果を問う。

答1 たくさんある篠山の魅力を世界に向けて発信しようとしていることを、理解いただくための、短く簡単な言葉である。市民に向けては、篠山の魅力は世界的であり、篠山ほど良いところはないことに気づいていただき、篠山を大切にしたいと願っている。

問2 多くある移住希望に応えるためには、古民家や空き家を活用した移住促進に積極的に取り組んでいく必要があると考えるが、空き家を活用した「農ある暮らし」の実現につながる小規模農地の



活用が待たれる空き家

規制緩和への取り組みを問う。

答2 今年度より創設した改修費助成制度の周知等を積極的にを行うとともに、定住アドバイザーとの連携を強化し、空き家バンクへの登録件数の増加を目指し、移住促進につなげていきたい。全国的に少ないが、空き家付き農地に限り、下限面積

を緩和されている事例の研究等を行い、決定機関である農業委員会と協議する。

問3 森林は貴重な地域資源であり、再生可能なエネルギー源である。こ

んだ薬師温泉における木質ポイラー設置にあたり、循環型エネルギーである木質バイオマスを通じた地域創生に向け、篠山産材による全量安定供給について問う。

答3 篠山産材の利用促進や木質バイオマスの有効活用に取り組むこととしており、財源を確保しながら、民間の活発な取り組みを支援していく。篠山産材を有効活用し、エネルギーだけでなく経済面でも地域内循環を目指す、需要の拡大が見込めるペレット等の供給体制の構築に向け調査研究

問4 異常気象が多発する中、過疎・高齢化に対応すべき個別避難支援計画「ささやま見守り台帳」の早期整備を求めるとともに、災害時の要援護者避難場所として、また介護支援体制整備に向けた介護事業所との協定締結について問う。

答4 「ささやま見守り台帳」への登録を進めているが、登録率が低いため、制度への理解浸透及び啓発を図り、支援体制づくりを推進していく。市内介護保険事業者と連携した避難場所確保については、6月中旬に「福祉避難所にかかる協定」を締結する。

### ■その他質問事項

『「特産振興」について』、『「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について』



**行政経営について**

市政執行方針「世界のみなさん、  
 こんにちは」について……………青藍会/森本 富夫 6  
 市政執行方針「定住促進」について……………青藍会/森本 富夫 6  
 市政執行方針について……………清新の会/奥土居帥心 7  
 職員の勤務実態と組織力向上について……………高志会/木戸 貞一 8  
 篠山市のランドデザインについて問う……………河南 克典 8  
 青少年コミュニティコンセンサス会議の実施を……………吉田 浩明 9  
 (株)ノオトの分社化と地域再生事業の今後について……………渡辺 拓道 11  
 「戦争法案」は廃案に……………前田えり子 12

**公共交通について**

公共交通政策について……………高志会/木戸 貞一 8  
 篠山市の公共交通について……………大上 磯松 10  
 地域交通（ボランティア輸送）の支援について……………恒田 正美 11

**地域資源の活用・地域活性化について**

デカンショ踊り若手市職員でチーム結成を……………吉田 浩明 9  
 デカンショ節から丹波ささやま  
 創造農村に向けてのヒントを……………小畠 政行 10  
 (仮称)デカンショ会館の設置にむけて……………足立 義則 12

デカンショ振興について……………足立 義則 12  
 丹波篠山デカンショ祭りについて……………栗山 泰三 13

**市民生活について**

遠距離通学助成について……………高志会/木戸 貞一 8  
 ごみゼロへの取り組みについて……………高志会/木戸 貞一 8  
 公契約条例の制定を……………公明党/隅田 雅春 9  
 これからの国際交流について……………公明党/隅田 雅春 9  
 「子ども包括支援センター」の構築を……………公明党/隅田 雅春 9  
 高齢者を守る施策について……………園田 依子 10  
 自転車保険助成について……………園田 依子 10  
 婚姻届用紙について……………園田 依子 10  
 高等学校通学支援について  
 市外の学校への通学にも支援を……………大上 磯松 10  
 過去の一般質問等への対応について  
 自治会有線放送等の整備補助の件……………渡辺 拓道 11  
 特定健康診査の受診率増に向けて……………國里 修久 11  
 「篠山市清掃センター」の移転先及び  
 直面する課題の解決に向けて！……………堀毛 隆宏 13

代表質問



問1 ①日本遺産の認定を受けた篠山市の魅力在全国にアピールしていく必要がある。若者に興味を持っていただけるように、スマートフォンを使って歴史美術館や武家屋敷安間家史料館、篠山城大書院、青山歴史村の4施設をめぐるスタンプラ

清新の会  
奥土居 帥心

1. 市政執行方針について  
2. 新教育長制度について

リーを企画してはどうか。②以前に提案した、ふるさと納税のお礼としてデカンショ祭の特別観覧席を提供することについて、その後の状況は。③本市における三世代同居に対する施策は、同居と近居において支援に差があるが、市民の意向をアンケートで確認しながら見直すべきではないか。④安定ヨウ素剤を配布するにあたっては、課題が多くあると考えるが、どうか。

答1 ①スマートフォンによる電子スタンプを利用している観光案内を行っている倉敷市では、市内周遊に役立ち、その結果、市内滞在時間の延長につながっているという例もあることから、前向きに検討していく。②ふるさと納税の記念品につ

いては、現状の6コースから、牛肉や特産品、食品等を中心とした100点へと大幅に種類を増やす予定であり、そのうちの体験型記念品のひとつとして、特別観覧席を提供する。3〜5万円までの寄付に対して、5名で利用できるテーブル席(1万円相当)を両日とも5席の計10席を用意することとしている。③ふるさと篠山に住もう帰ろう運動を継続して実施するとともに、一方で重点地区だけではなく、親世帯と子世帯が一緒に暮らせる三世代同居・近居の奨励を目的に、市内全域に拡大して行うこととしている。同居よりも近居の方が負担が大きいにも関わらず、一律の補助内容であるという指摘については、研究していく。④葉

■その他質問事項  
「篠山の教育について」

による副作用や配布後の紛失等の心配があり、問題がないとは言いが切れないのは事実であるが、服用することによる重篤な副作用はインフルエンザ予防注射におけるその割合と比べても20分の1と低く、それよりも効果の方が高いと判断している。

問2 新教育長制度開始により、いじめのような重大事案に対する初動対応はこれまでと比較して、どのように変わったのか。

答2 教育長が先頭に立ち、早急に指示を出して対応する。教育委員長と教育長との職責が一元化されたことで、組織としての判断・対策が先んじて行えると考えている。

高志会  
木戸 貞一

1. 公共交通政策について
2. 遠距離通学助成について
3. ごみゼロへの取り組みについて
4. 救急車の体制と市民救命士の充実について
5. 職員の勤務実態と組織力向上について



会派視察(石川県珠洲市)

問1 会派における視察により、石川県珠洲市では、公共交通が高齢者向けの福祉施策になりつつあることがわかった。本市の公共交通について、基幹部分の見直しを発表されたが、その方法や検討機関について問う。

答1 これまでの利用増進策では利用者が思うように伸びておらず、期間を限定した運賃の無料化も含めて検討する。検討機関は地域公共交通会議であり、コミバス以外の形態や費用対効果も含めて検討する。

問2 助成目的を子育て世代の経済的負担軽減に特化し、助成金の有無により、子どもの進路に影響を及ぼすことがないよう、市内・市外高校を問わず遠距離通学者に助成すべきではないか。

答2 市内高校を残したい思いから創設した制度であり、今後も市内高校に限定したい。なお、助成金による進路への影響はないと考える。

問3 ①ごみ減量に対する市民意識の現状を問う。②市民意識向上のためにも、市が推進している段ボールコンポストのパッケージ化の必要性を問う。

答3 ①平成24年度の本市における家庭からのごみ排出量は、県内では中間程度となる1日1人あたり674gであり、意識が高いとは言えない。②段ボールコンポストについては、パッケージ化を含めて検討する。

問4 ①本市の救急体制は、東・南・西出張所を整備しているが、現状は人員不足により閉所することが多く、体制充実が必要ではないか。②市民も含めた救急体制充実を図るために、市民救命士講習の高い再受講率達成を望む。

答4 ①各出張所の閉鎖については、完全閉所が西55回、一時閉所が東117回、南118回、西186回となっており、今後は体制の充実を含めて検討する。②救命士講習の再受講率は平成26年度で29・3%となっている。2年毎の再受講が望ましいとされており、今後、防災訓練等の機会を利用して再受講の重要性の周知に努める。

問5 職員450人体制の目標に対し、現在44人となる中、勤務実態について、職員のサービスマンや業務の偏り等、体制として歪みはないのか。職員体制がしっかりしてこそその住民サービスであり、職員の声を聞くための調査を実施すべきではないか。

答5 これまで職員満足度調査を実施したことはなく、今後検討する。

■その他質問事項  
「学校適正配置について」「子育て施策について」「河川環境整備事業の草刈事業」

河南 克典

篠山市のグランド  
デザインについて問う

問 ①第2次総合計画の中間見直しにあたり、希望的な人口想定ではなく、現実的な人口推計を掲げるべきではないか。②人口減に伴う地方交付税の減額等も見込まれる中、より厳しい公共施設の統廃合計画を策定すべきではないか。



答 ①平成22年度に策定した第2次総合計画では、平成32年度の推計人口を4万人程度と見込んでおり、これに政策的効果を加味して4万2千人に留めることとしている。これまでの人口推移及びそれに基づく推計からは、推計人口4万人程度という数値は、ほぼ見込みどおり推移していると考えられる。策定当時から希望的な人口推計をせず、厳しく現実的な推計をしてきたことの表れであり、それをもとに財政の見直し等を立てる市政運営の基礎としていること

とから、今後も引き続き推進していく。②施設の統廃合については、既に「篠山再生計画」により取り組んでいるが、今後、公共施設の老朽化の状況や利用状況、人口の今後の見直し、維持管理に係る中長期的な経費の見込み等から、公共施設の長寿化を計画的に行うため、公共施設等総合管理計画の策定を検討している。その中で情勢等の変化により更に統廃合が必要な施設があれば検討していきたい。



1. 公契約条例の制定を
2. これからの国際交流について
3. ペレットストーブの小中学校へ導入を
4. 「子ども包括支援センター」の構築を



市内で行われている公共工事

問1 高度経済成長時から40年が経ち、インフラの総点検が必要となっている中、小規模建設事業者においては、熟練工の高齢化や若者の就労が進まないことが課題となっている。若者が地元に着して活気ある街づくりを進めるためにも、公契約条例を制定する必要があるのではないか。

答1 公契約条例は、市が発注する工事請負契約や人件費を主とする施設の業務委託契約を対象に、労働者の適正な労働条件を確保することを目的に、一定水準以上の賃金支払いを受注者等に義務付けることなどを規定するもので、県下では、三木市、加西市、加東市が条例制定している。社会の環境や近隣市の制定状況を踏まえ、検討委員会を立ち上げ、条例制定に向けて前向きに検討していく。

問2 ①ユネスコの先進自治体である利川市及び山清郡と姉妹都市を目指して交流を進めていくべきではないか。②ユネスコ事務局が10万人以下の都市の登録を認めないと見解を発表、加盟へのハードルが高くなった今、この壁を破るため

に、市長自ら申請書を直接パリ本部に届けてはどうか。

答2 ①今年2月に、大韓民国慶尚南道山清郡より、「2015年は日韓国交正常化50周年の節目であり、これからの新しい50年が両国にとって友好的なものとなるよう、規模や産業構造が似ている篠山市と交流を進めていきたい」と申し出を受けた。兵庫県と慶尚南道が「友好交流に関する合意書」を締結していることも踏まえ、前向きに考えていきたい。利川市とは、ユネスコ創造都市ネットワークとしての交流は続けていくが、時間をかけて検討していきたい。②加盟に向けた強い思いを示すため、パリ本部に出向きたい。

問3 エネルギーの地産地消に向け、市内小中学校に篠山産材を活用したペレットストーブを設置していくべきではないか。

答3 森林資源の大切さや木材の再生利用などの環境教育をはじめ、自然体験学習を進めるために、28年度より市内1校をモデル校として配置する。

問4 子育てふれあいセンターに来られる親子は増加しているが、現状はスペースも狭く、拡充整備を図っていくべきではないか。

答4 スペース拡充に向けて、城東公民館内の子育てふれあいセンターは、B&G海洋センターへの移転を、たんなん子育てふれあいセンターは、商工会丹南支所への移転を目指す。

1. 青少年コミュニティコンセンサス会議の実施を
2. 更なる道徳教育の充実を
3. デカンショ踊り若手市職員でチーム結成を

問1 これからのまちづくりには若い人たちの意見を取り入れることが重要であり、その手法として、青少年コミュニティコンセンサス会議を実施してはどうか。

答1 若い人たちが女性の声を生かすことは、魅力ある篠山のまちづくりに重要な施策と考える。今後コンセンサス会議の実施については検討したい。

問2 3・4年後に特別の教科として位置付けられる道徳は、本年から移行期間が始まるが、教科化に向けてどのように取り組むのか。

答2 教科化により、検定教科書の義務付けや評価が設けられるが、児童生徒たちが故郷を愛し、誇りを持ち、相手の立場に立って物事を判断できる授業としていきたい。そのために、教職員が自信をもって授業を行える



受け継がれるデカンショ踊り

よう一層の授業力の向上に努めていく。

問3 デカンショ節保存会は外交使節として篠山のPRに努められているが、高齢化が懸念される状況にある。日本遺産認定を機に、市若手職員による踊り手チームを結成してはどうか。

答3 デカンショ節を通して篠山のPRに努めていただいていることに感謝している。踊りの後継者育成については、その必要性を感じており、市職員プロジェクトチーム「日本遺産のまち推進とデカンショプロジェクト」を立ち上げた。この中で熱意ある若手市職員によるチーム結成に努力したい。

園田 依子

1. 高齢者を守る施策について
2. 自転車保険助成について
3. 婚姻届用紙について

問1 振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺等の被害が年々増加している中、高齢者を消費トラブルから守るためには、悪徳業者と接触させない未然防止策となる防犯アイテムが必要と考える。市として積極的に周知し、普及啓発するべきではないか。

答1 勧誘過程を録音する防犯アイテムは、詐欺犯が電話をかけてこなくなる、詐欺をもとから断つという点で、効果的な未然防止策であると考えられる。高齢者に多いトラブルの事例や手口等の情報を出前講座



高齢者を守る防犯アイテムの例  
出展:消費者庁ウェブサイト「高齢消費者の二次被害防止モデル事業」

や、市の広報誌において情報発信し、消費者トラブルから守る取り組みを進めていく。

問2 兵庫県が制定した自転車保険の加入を義務付ける条例が10月1日から施行される。中学生のいる全世帯に自転車保険の掛け金を公費支援してどうか。

答2 自転車事故を起こしても十分な補償ができるよう、中学生のいる世帯を対象に年額千円を助成する方向で検討する。

問3 結婚後も愛着を持ってもらうために、篠山市の風景やキャラクターをモチーフにした、市独自の婚姻届用紙を作成してどうか。

答3 愛着を持っていただき、定住促進や観光振興につながるような婚姻届を検討していく。

小島 政行

1. デカンショ節から丹波ささやま創造農村に向けてのヒントを
2. まちづくり協議会内に農業部門の設立支援を

問1 ①世界のみなさんにお越しいただくためには、日本遺産で掲げたストーリー性のある事業展開が必要と考える。②篠山市をPRするため、担当課の職員を増強する必要があるのでないか。

答1 ①「日本遺産のまち」として輝くためには、何よりも市民が今まで以上に愛着を持ち、誇れるまちにすることが必要であり、市民からのアイデアを募集する。これまで進めてきた創造都市、創造農村の取組と一体性を持たせながら、日本遺産のまち推進に向けた取組を早急に進めていきたい。②企画課に地域創造創生係を設置し、2名の職員を配置した。識見者や市民で構成する検討委員会とともに、関係部署の職員で構成する推進本部、ワーキングチーム等、全庁的に取り組ん



でいく。

問2 まちづくり協議会内に農機具のオペレーター等の養成や農業支援を行う農業部会を設置し、その運営のノウハウを行政指導してどうか。

答2 今後、高齢化や人口減少により、集落単位では農業の課題を解決することが困難なことから、まちづくり協議会のような広域的な組織による農業経営の取り組みに対し、情報提供や研修会の開催等を通じて支援していきたい。

大上 磯松

1. 高等学校通学支援について市外の学校への通学にも支援を
2. 篠山市の公共交通について

問1 自由に教育を受けられ、高校も選択できることが理想であると考えられるが、同じ市内の高校生であっても支援に差があることをどのように考えるのか。

答1 高等学校通学支援策については、市内高校の振興と家庭の経済的負担の軽減という2つの目的で設けた制度であり、支援の差というよりも目的の違いであると考えられる。

問2 コミュニティバスについては、実証実験運行を含め10年を迎える。①運行ルートやフリー乗降区間、運賃等の見直し



が検討されているが、その地域、運賃はどのようになるのか。②地形的に独立している今田地域においては、試行的にデマンドタクシーを導入してどうか。

答2 ①利用者が年々減少しており、運行形態の見直しを行わなければいけない時期が来たと感じている。どこでも乗り降りできるフリー乗降区間については、交通量が多いところは危険なことから、設定できる区域は限られるが、検討したい。また、試行的に一定期間、運賃を無料にする等、利用者が少ない理由が運賃設定の高さにあるのか等を検証する。②需要や経費、路線バスやコミュニティバスへの影響も含め、試算してみる。

その他質問事項

「国際社会に向けて特化した英語教育をめざせ」





山の手スクールの様子

恒田 正美

1. 農都創造に向けた楽農スクールの拡充を
2. 地域交通(ボランティア輸送)の支援について

問1 現在の楽農スクールを拡充して、市内の高校や農業団体、農家等が連携し、農作物の栽培から農業経営、農村集落を守り育てる知識や技術を学べる仮称「丹波篠山農学校」を設立してはどうか。これにより農都創造の一翼を担う人づくりが出来るか考える。

答1 多様化している就農希望者の条件に幅広く対応していくため、楽農スクールや丹波ささやま

農協が実施している山の芋スクール、黒大豆スクールの事業を組み合わせた就農支援を検討する。また、グリーンファームささやまに委託している農業研修実施事業による結果を見ながら、各種講座の支援体制を検討し、充実させていきたい。

問2 これまで行われてきた地域での取り組みを踏まえ、今後のボランティア輸送の仕組みづくりをどのように進めていくのか。

答2 ボランティア輸送とは、交通手段を持たない方々のために無償で移送する事業であり、市内では2地区のまちづくり協議会で取り組まれている。両地域以外においても、検討や実施したいという声があり、利用者や地域の実情にあった内容となるよう、市として十分に相談に応じられる体制を整えていく。

渡辺 拓道

1. 過去の一般質問等への対応について 自治会有線放送等の整備補助の件
2. のびのびパスポート制度への参加について
3. 農産物地理的表示保護制度の活用について
4. (社)ノオトの分社化と地域再生事業の今後について

問1 検討するとされていた自治会で整備する有線放送等への補助はどうか。

答1 検討に時間を要したが必要な支援と考えている。9月議会で提案すべく準備を進めている。

問2 神戸市を中心に近隣市町が連携して取り組んでいる「のびのびパスポート」登録施設を子どもたちが無料で利用できる(に参加し、児童生徒の学びをサポートするとともに、交流人口の増加を図ってはどうか。

答2 参加に向けて神戸市と調整していく。また、これを機に、県が実施している「ココロンカード」にも市内の教育関連施設を対応させ、篠山の歴史や文化を市外の子どもたちにも積極的に発信していきたい。

問3 長年培われた特別な生産方法や生産地の特性により、高い品質と評



出展:農林水産省ホームページ「地理的表示及びGIマークの表示について」

価を獲得した農産品の名称を知的財産として保護する「地理的表示保護制度」は、篠山の特産物保護に有効であると考え

答3 早期にJAや関係事業者と協議し、制度導入に向けて準備を進める。

問4 ノオトの分社化により、これまで取り組んできた地域再生事業に影響は出ないのか。

答4 分社化により財務的に減収になると考えるが、引き続き情報交換に努め、要請があれば今後可能な範囲で連携、協力していく。

國里 修久

1. 担い手育成と「人・農地プラン」について
2. 特定健康診査の受診率増に向けて

問1 地域の農業は地域が守るといふ理念のもと、人・農地プランの早急な策定が望まれる。将来の篠山の農業を守っていくために必要なことを説明し、進めていくことが重要ではないか。

答1 集落の役員を対象にして毎月1回研修会を開催する等、積極的に進めていく。人・農地プランに集落営農組織が位置付けられた場合には、その規模や法人化の要件を問わずに、特に農業機械の購入や更新の支援に力を入れていきたい。人・農地プランの策定は、それぞれの集落において、将来の農業の担い手について、検討していただく大切な機会と考えている。

問2 40歳から74歳の国保被保険者の健診受診率が上がることに、将来的に国保会計の医療費負担が減るといふ観点か



市内で実施される健診

ら、商品券等の支給を行えば、受診率アップと市民の健康づくりに寄与するのではないかと。

答2 平成25年度の受診率は33・4%であり、平成29年度の受診率目標60%に近づけるためには、更なる工夫と努力が必要と考える。商品券の支給は受診者にとって魅力的な提案ではあるが、医療が必要であるにもかかわらず受けられない等の事例も懸念されることから、まずは受けやすい健診体制の整備や啓発の強化を優先させたい。

足立 義則

1. (仮称)デカンシヨ会館の設置にむけて  
2. デカンシヨ振興について

問1 日本遺産の認定を契機に、篠山城跡や特産品、丹波杜氏の姿などの構成文化財に加え、各地域の伝統文化や祭礼、町並みや風景など、篠山の魅力の全てをPRする情報発信施設を設置してはどうか。

答1 現在、大手前展示館を含む青山歴史村一帯をデカンシヨ節体験施設(伝承館)として整備するよう文化庁に補助金の交付要望を提出している。

青山歴史村は老朽化が進んでいることから、他の財源も確保し、計画的に整備していきたい。

問2 ①交響ホールや市民センターのロビー等で、デカンシヨ節を流してはどうか。②デカンシヨ祭に行こうと思っただけのために、当日の無料巡回バスやシャトルバスについて、もっと積極的にPRするべきではないか。



答2 ①防災行政無線のお知らせ音をデカンシヨ節に変更する。また、JR篠山口駅駅舎内でデカンシヨ節のメロディを流すことをJRと協議している。加えて、市庁舎や大正ロマン館やぬくもりの郷等の玄関自動扉が開く度、人感センサーによりデカンシヨ節のメロディが流せないかを検討している。②まだまだ乗車できる余地もあり、広報に力を入れていきたい。

植村 満

消防署職員の増員が急務の課題

問 消防庁が示す「消防力の整備指針」の目標職員数96名に対し、市の消防署職員は平成19年に64名が配置されて以降、増員されていない。市内の救急出動は過去5年で500件以上増えており、今後も増えることが予想される。また、各出張所の一時閉所も増えており、職員の非常招集も年間80回と異常な状態であり、消防署職員の増員が必要ではないか。

答 第3次定員適正化計画(平成22〜26年度)により、職員数450人を目標とし、取り組んできた結果、平成25年度に目標を達成している。一方、消防署職員については、市民の安全安心を守るという職責を果たすため、合併時の52名に対し、12名増と増強を図っている。今後は出張所を効率的に運用できるよう業務全般の見直しをする等の工夫を行うとともに、職員数については、市役所全体で、他の部署との兼ね合いも考慮し検討する。また、非常招集は近隣と比較すると非常に多くなっているが、災害に對する必要最小限の警備体制と考えており、今後この体制を維持しつつ、待機体制の見直し等を含め、回数を減らすように検討する。現場に携わる職員が休暇には心身ともにリラックスできる体制づくり、年休の取得しやすい状況を内部精査する。

問2 政府の農政改革では、農地中間管理機構を



篠山市消防本部

前田えり子

1. 「戦争法案」は廃案に  
2. 政府の「農業改革」と篠山市の農業について

問1 戦争法案は、日本がどこからも攻撃されないなくても、集団的自衛権を行使し、他国への武力攻撃を可能にする。さらに「戦闘地域」での軍事支援、武器使用も可能になるが、市長の見解は。

答1 悲惨な戦争が繰り返されることのないように願っている。国の在りかたを左右する重要案件の決定に際しては、時間をかけて議論を行い、理解してもらい、国民的合意が図られることが大切である。集団的自衛権行使は、違憲であると考え

問2 篠山のような中山間地域では、農地の集約や経営規模の拡大は条約的に難しい。集約化により、零細農家が農業を止めていった場合には、農村がますます寂れていくこととなる。米の直接支払交付金が平成30年度には廃止され、米の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)は、平成27年産からは認定農業者や集落営農等、対象者が限定されることから、農家の耕作意欲への大きな影響が懸念される。



稼働させ、企業の農地への進出に道を広げる一方、零細農家や中山間地の農業を切り捨てることとなる。安心して、農業を続けるための価格保障や所得補償を充実させるべきと考えるが、市長の見解は。

答2 篠山のような中山間地域では、農地の集約や経営規模の拡大は条約的に難しい。集約化により、零細農家が農業を止めていった場合には、農村がますます寂れていくこととなる。米の直接支払交付金が平成30年度には廃止され、米の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)は、平成27年産からは認定農業者や集落営農等、対象者が限定されることから、農家の耕作意欲への大きな影響が懸念される。

■その他質問事項  
「中学校でも35人以下学級を」



堀毛 隆宏

「篠山市清掃センター」の移転先及び直面する課題の解決に向けて！



篠山市清掃センター

問 ①ごみ処理施設全面改築に関する覚書・確認書による業務期間は平成39年3月まで25年間で、それ以後は同地付近(5km以内)での操業は行わないこととなっているが、次期候補地選定の取り組み状況は。②業務期間を勘案しても、焼却炉稼働から13年目を迎え、基幹改造が必要ではないか。また、第三者専門機関(廃棄物コンサルタント)を導入し、環境省の交付金事業を活用しながら維持していくのが最も良い選択ではないか。

答 ①覚書は、市合併直前に締結されたものであり、存在すら認知していなかったが、市政の大きな課題と捉え、公害の発生を防止し、良好な環境が維持できるよう、全力で取り組む。課題解決に向け、覚書を尊重しつつ、広く市民の声を聞き、検討していく。②老朽化に伴い、近年は焼却施設だけで1億円の修繕費がかかっていることもあり、本年から、部分的な修繕だけでなく、中長期的な計画のもと財政支出を検討しながら、最も有利かつ効率的な方法を比較検討している。交付金利用にあたっては、長寿命化総合計画の策定が必要であり、工事金額の算出も含め専門的知識を有するコンサルタント会社への委託が必要と考える。

■その他質問事項

「市内主要ヶ所に防犯カメラの設置を！」水道代、各種税金をクレジットカード払いにすることにより利便性と収納率の向上を！」

栗山 泰三

1. 篠山市新春駅伝大会について  
2. 丹波篠山デカンショ祭について



毎年開催される新春駅伝大会

問1 1月に開催予定であった駅伝大会が、積雪中で中止となったが、この時期の凍結や降雪は予想できることであり、融雪剤等を準備しておくことは当然の責務と考える。また、スタート時刻を遅らせることで運営は可能であったのではないか。

答1 当日は冷え込みが厳しく、前夜からの降雪もあり、スタートまでに全コースの安全確保ができないと判断し、中止した。その後は天候も回復し、結果的には危険箇所への融雪剤散布やスタート時刻を遅らす等で大会が開催できた状況となり、適切な判断ができなかったと反省している。次回の大会からは、路面凍結対策として、まとまった量の融雪剤を準備するとともに、スタート時刻を遅らせる等、極力開催できるように対応する。また、悪天候時の開催判断は、駅伝競技に熟知した市陸上競技協会等の意見を重視して決定する。

問2 日本遺産認定を受け、デカンショ祭も更なる賑わいが予想される一方、踊り子の数の少なさが気になる。踊り子を増強する施策が必要ではないか。

答2 デカンショ節保存会による市内小中学校や集落での踊り講習会等の取り組みにより、デカンショ祭への関心を高め、参加へとつなげていく。

■その他質問事項  
「篠山ABCマラソン大会について」



健康増進拠点のさらなる発展に向け

議案第62号 篠山市立篠山総合スポーツセンター条例の一部を改正する条例

議案は、篠山総合スポーツセンターの管理運営について、指定管理者制度の導入により指定管理者による利用料金制の施設の管理運営を可能とするもので、指定管理者が行う業務について定めるとともに、指定管理者が管理運営を行う場合は利用料金制度として指定管理者の収入とし、收受させることができること等を規定するものです。

総務文教常任委員会では、篠山総合スポーツセンターをどのように維持するかが課題となっている中、「基金がなくなると、今後県からの援助はないのか」「資金の確保等については、どのように想定しているのか」等の質疑が出され、「平成16年に県から移譲された時に大規模改修がされており、現在は県とは関係のない施設である」「指定管理料がどの程度必要で、どのような自主事業を行うのか、どのような運営形態にするのかということを含めてプロポーザルの中で決定していく」との回答があり、全員賛成で可決しました。本会議でも、全員賛成で可決しました。

# 9地区で議会報告会を開催

市民に開かれた身近で信頼される議会、市民の負託に応えられる議会の実現を目指し、5月7日から6月2日まで、市内9地区で報告会を行い、196人の参加をいただきました。

報告会では、昨年12月及び3月定例会の報告等を行った後、地域の課題等について、意見交換を行いました。

## 主な意見・提言等

### 城北地区（5月7日）

- サル用防護柵設置要望への対応を早期に行ってほしい。
- 集落内にある防犯灯の維持管理は、市で対応できないのか

### 畑地区（5月11日）

- 農産物の加工場を作ってほしい。
- デカンショ祭での踊りの順番待ちが長いため、改善してほしい。

### 味間地区（5月18日）

- 老人福祉施設への入所待ちが多く、議員としても待機人数を把握しておいてほしい。

### 雲部地区（5月19日）

- 「里山工房くもべ」の市外利用者が、地域内で住居を探しており、支援してほしい。

### 岡野地区（5月19日）

- 介護保険条例の改正に伴い、市は地域と協力しながら、独自施策を講じようとしていると聞くが、地域はどのようなことを担っていくのか。

### 古市地区（5月19日）

- 地域に定住して子育てをするためには働く場が必要であることから、市内に企業の誘致をしてほしい。

### 城南地区（5月21日）

- 国道の街路樹が大きくなって危険なため、早急に伐採等の対応をしてほしい。

- 「丹波黒大豆」だけに頼るのではなく、第3の特産物を考えてほしい。

### 大芋地区（5月26日）

- プレミアム商品券の広報は、どのようにされるのか。
- 空き巣や車上荒らしが多いので、対策を講じてほしい。

### 西紀北地区（6月2日）

- コミセンのトイレを和式から洋式に換えたいが、高額となるため補助制度を教えてください。
- 市営住宅3戸が空き家となっているので、定住施策に活用してほしい。

## 今後の取り組み

質疑・意見については、①特別委員会含む議会での調査・研究②市長に申し入れ③政策討論会による議会全体での議論の分類を行い、その結果を開催地区のまちづくり協議会会長・地区自治会長会理事へ送付しています（会議要旨は議会HPに掲載しています）。

## 次回の予定

次回の議会報告会は、篠山、八上、日置、後川、福住、村雲、西紀南、西紀中、大山、今田地区で開催予定です。

多くのご意見をありがとうございました。今後の議会活動及び議員活動に活かしてまいります。





# 政務活動費の公開

政務活動費とは、議員が調査研究するために会派(無所属を含む)に対して、必要な経費の一部として交付されるものです(月額2万円×会派所属議員数)。

領収書等の関係資料については、議会事務局で閲覧できます。

## 平成26年度政務活動費収支報告書

会派名 所属議員	青 藍 会 森 本 富 夫 小 畠 政 行 吉 田 浩 明 渡 辺 拓 道 河 南 克 典 栗 山 泰 三 足 立 義 則	清新の会 (破竹会) 5月1日改称 奥土居帥心 堀毛隆宏 國里修久 植村 満	高 志 会 5月1日結成 大 上 磯 松 恒 田 正 美 木 戸 貞 一	公 明 党 隅 田 雅 春 園 田 依 子	無 所 属 (日本共産党) 前田えり子	報 市 会 4月30日解散 奥土居帥心 林 茂	真 風 4月30日解散 大 上 磯 松 恒 田 正 美	無 所 属 5月1日会派へ加入 木 戸 貞 一
項 目								
交付金額	1,660,000	940,000	660,000	480,000	240,000	40,000	40,000	20,000
研究研修費	0	494,916	4,000	203,526	86,200	39,520	0	10,680
調査旅費	1,255,016	191,870	159,896	0	0	0	0	0
資料作成費	0	648	160,994	0	0	0	35,683	0
資料購入費	8,300	75,852	6,560	0	0	0	0	4,848
広 報 費	396,684	0	181,261	0	40,900	0	0	0
広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の経費	0	2,700	2,700	0	0	0	0	0
支 出 額	1,660,000	765,986	515,411	203,526	127,100	39,520	35,683	15,528
返 還 額	0	174,014	144,589	276,474	112,900	480	4,317	4,472

※活動費は年2回(6カ月分ずつ)に分けて会派に交付され、年度末の精算で残額が生じた場合は、残額の全部を返還しています。

※5月1日に構成員の変更があった会派については、変更議員の4月分政務活動費は交付されていません。

※議長(平成26年4月:足立義則、5月以降:林茂)への活動費の交付はありません。

### 政務活動費の用途

- 研究研修費:研究会及び研修会開催・参加のために要する経費
- 調査旅費:調査研究活動のための先進地調査又は現地調査に要する経費
- 資料作成費:調査研究その他活動のために必要な資料作成に要する経費
- 資料購入費:調査研究その他活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 広 報 費:調査研究活動、議会活動、市政について住民に報告し、PRするために要する経費
- 広 聴 費:住民からの市政及び会派等の政策等に対する要望、意見を聴取するための会議等に要する経費
- 人 件 費:調査研究その他活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務所費:調査研究その他活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費
- その他の経費:上記以外の経費で調査研究その他活動に必要な経費

次回の定例会は9月に開催します。

(第101回定例会予定)

本会議(第1日): 9月 4日(金)

補正予算・条例改正 他

本会議(第2日): 9月15日(火)

一般質問 他

本会議(第3日): 9月16日(水)

一般質問 他

本会議(第4日): 9月24日(木)

決算認定提案 他

本会議(第5日): 10月 1日(木)

委員長報告 他



環境にやさしい植物油インキを使用しています

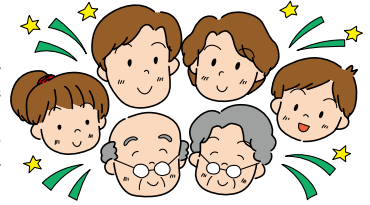
# 説明責任 Accountability

## 議会における 男女共同参画を推進

### ■ 篠山市議会会議規則の一部を改正

篠山市議会では、近年の男女共同参画の状況に鑑み、議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、会議規則において出席に伴う議会の欠席に関する規定を明確に定めました。

地方議会においては、これまで出産、子育てしながらの議員活動が難しい状況にありましたが、今回、その改善に向けて第一歩を踏み出しました。今後も、女性議員が活躍できる環境を整備して、議会を活性化し、より良い住民サービスに努めていきたいと考えます。あわせて、本市における男女共同参画もしっかりと推進していきます。



### 陳情・要望を受けました(平成27年3月25日～平成27年6月11日受付分)

(陳情・要望)

#### ■ 要望書(水路破損個所の補修に関する件)

東岡屋自治会、東岡屋農会

#### ■ 陳情書(助成金等のお願い)

篠山市ゴルフ協会

#### ■ 新築される味間認定こども園舎への篠山産木材の積極的利用について

篠山市木材協同組合、篠山木材市場株式会社

#### ■ 「畑教育複合施設(旧畑小学校)」の駐車場拡充等について

社会福祉法人わかたけ福祉会、畑小学校跡地活用検討委員会

\*上記4件の要望書については、市当局に対し、十分に検討を加えられるように申し入れました。

#### ■ 要望書(少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について)

兵庫県教職員組合多紀支部

#### ■ 祝日における国旗掲揚を促進する条例の制定に関する陳述書

河南 直人

\*上記2件の要望書については、それぞれ総務文教常任委員会及び議会運営委員会において、今後、検討を行う予定です。

◎午前9時30分の開会予定です。

議場での傍聴をお待ちしております。

(28人・先着順)

なお、篠山市議会のホームページでも議会中継を見ることができます。

また、市役所本庁舎(ロビー・議場前)に設置のモニターにて、視聴(リアルタイムのみ)が可能です。

ささやま市議会だより 第69号

平成27年7月21日発行

編集・発行

篠山市議会広報特別委員会

大上 磯松・植村 満・木戸 貞一

堀毛 隆宏・前田えり子・隅田 雅春

〒669-2397 兵庫県篠山市北新町4-1

TEL (079) 552-6855

篠山市議会

検索

今定例会で100回を迎えた記念にピアノとフルートの演奏が行われ、議場に響くフルートの音色に皆が心満たされるひと時を味わいました。4月には、日本遺産認定の朗報が届きました。一般質問でも、議長を除く全議員(17人)が登壇、うち6人が日本遺産に関する質問でした。デカンショ会館構想も発表され、今年そのデカンショ祭は大いに盛り上がりそうです。さらに、篠山市はユネスコ創造都市ネットワークへの登録も目指しています。世界に輝く、篠山の時代の創造に向け、取り組みが進んでいます。

(隅田)

まちなみ

広告



高性能レンタル雷センサ

雷から大切な命を守る。

— 手軽で本格的な雷検出がここに実現! —

雷ミハリ番

検索

GIN株式会社

〒669-2323

兵庫県篠山市立町190-6



0120-06-9228

広告

電気・通信・避雷針・太陽光発電・防災・防犯・PHV・EV充電設備 ISO9001:2008 認証事業所

# オカダ電工

Security. Service. Okada.

セキュリティ サービス オカダ

篠山市般若寺189 ☎552-5243(代) FAX552-5543

中央連絡所 篠山市西古佐936 ☎594-0370 FAX594-0370

[E-mail] denkiya-okada@watch.ocn.ne.jp [URL] http://denkiya-okada.com/